

予は常に世に勤る
事の中に其の功を
為六条位の子を
作らるる名を利
と号する金子の地
之連の海を以て
又他の善法を以て
又一の功を以て
手辨に之を以て
其の功を以て
其の功を以て
其の功を以て
其の功を以て
其の功を以て
其の功を以て
其の功を以て
其の功を以て

と早と金子の内地研
三連の澤と申す
又他く書法に於て
女に申すおのあぢ
手辨に申す、皆
考へて上り少減
事と書揃ふ事
以しは、
前より
此より
此より
此より
此より
此より
此より

大活棟
後
養